

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

【記入方法】

複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに管理者が介護職員と協議の上記入してください。

次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。

項目番号23 初期に築く本人との信頼関係

項目番号24 初期に築く家族との信頼関係

項目番号25 初期対応の見極めと支援

項目番号26 馴染みながらのサービス利用

項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援

次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。

項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援

項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援

項目番号60 お金の所持や使うことの支援

項目番号61 日常的な外出支援

項目番号62 普段行けない場所への外出支援

項目番号63 電話や手紙の支援

項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名

社会福祉法人ふたば福祉会

せんだんの家

記入者(管理者)
氏名

清水 貞子

評価完了日

平成20年 6月16日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・今年度は、理念の見直しについて話し合いましたが、自分達の立場を代えて、こうしてほしい、という結果決めた前と同じ「優しく話を聴いて、穏やかに見守ってほしい。」を継続する事になりました。簡単な言葉の重みが経過と共に理解され守る事の難しさを考えさせられます。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・理念の実践を職員全体で取り組み話し合っている。利用者さんの近くに座り優しく話を聴く様にしている。</p> <p>・職員同士、理念が守られていない時は注意し合っている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>・ホーム内（玄関やフロア）に掲示したり、広報に掲載したり、家族の方や知人の方が面会に来られた時は職員も一緒に談話しありのままを見て頂いている。「穏やかな表情をしていますね。」と訪問者からの言葉が良くきかれますが、評価として受け止めています。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・ホームが町から離れており、定期的なふれあい産直、スーパー、お休み処、理美容室等へ出かけていますが、加齢と共に最近では「行きたくない」と外出を希望されない方も多し。ボランティア1/月行事に参加、1/週調理などのご協力を得ている。たまに散歩中の方が顔を出してくれる程度にて生きがい等に知人に会いに外出をする事もあります。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・敬老会や、鼓笛隊見学、踊りの発表会などで知人・友人から温かい言葉かけや、ふれあい産直では、野菜購入時に、お茶を頂いてきます。</p> <p>・住民検診も受けて多く友人・知人から声をかけて頂いています。</p>	<p>・利用者様の体調を管理しながら負担をかけない範囲で諸活動への参加をし、地域住民との交流に勤めたい。</p> <p>・地域から来ていただけるような取り組みを検討したい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>・入居者のご家族（高齢の方）にホームで過ごして頂いたり、相談があれば助言などに努めている。</p>	
3. 理念を实践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>・今年も自己評価を全職員で行い、自分を振り返る良い機会となっている。評価結果も共有し改善に努めている。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・2ヶ月毎に開催している。「意見箱」に一度も投書がない為、アンケートを取ってみては...という意見があり実施しました。（意見箱について、職員の接遇マナーについて）</p>	<p>・今後も定期的に開催し、ホームの事をより深く知っていただき、助言、指導をお願いしてより良いホーム作りをして行きたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・利用月次報告書、入退居報告書、広報を提出している。必要な時は電話で相談している。 ・1月より、運営推進委員を引き受けて頂きましたので、よりホームを身近に理解し、指導や助言などを頂けると期待しています。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>・勉強会、研修に参加しホーム内での伝達講習は行っているが、ケースがない為忘れ勝ちである。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・本人が自覚しない何気ない言葉にも、気が付いた時は職員間で説明して、注意し合っている。 ・ミーティングでロールプレイ等行い、繰り返さない事を最課題にしています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・現場の意見を尊重して頂き、異動はありませんでした。</p>		
5. 人材の育成と支援			
<p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・昨年に続き、管理者以外の職員の認知症介護実践者研修やその他の研修への参加を奨励し、内部研修へとつなぎ、現場に活かし質の向上に努めている。</p>		<p>・研修内容など検討し、計画的な研修参加で、ケア及び職員の質の向上に努めたい。</p>
<p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・GHに関し、浜北地域では、毎年施設交流研修会を行っており、希望者は全員参加させて、よい点は取り入れるなどしてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・年に1度、職員の意識に関するアンケート調査を実施している。 ・職員との面接により職場の人間関係等の不平不満を吸収している。</p>		
<p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・資格を取得した職員への報酬金制度を設け、資格手当を支給しているが、賞与に付いては一律で支給している。</p>		<p>・給与に付いては、資格、職能給の導入。 ・賞与に付いては、実績に応じた支給の導入を図って行きたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・昔遊んだお手玉を「ターメン」と呼ぶ事や、数え歌等初めて聞いた歌があり、嬉しそうに祖母と孫的な様子で職員に教えていました。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・芋煮会への家族の参加や面会時に3者が共有時間を過ごし、色々お話を伺ったり日常の生活状態を伝えたりして楽しく過ごして頂いています。 ・自宅への外出や電話で話して頂いたりもして常に身近に感じて頂いています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・ホームへのご家族の宿泊なども勧めております。本人、家族内の背景の把握に努め、よく話を聞きながら、情報は職員間で共有し、ケアに役立てています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・以前よりは外出頻度が少なくなって来ましたが、定期的に馴染みの理美容店にかかっている。利用者さんによっては馴染みの店に寄って買物をされる。(元気だよ、と顔を見せるのが楽しみにしている様です)		・可能な限り住み慣れた地域の中でのふれあいを大切にしたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・個々の利用者の関係や日々の心身の状態を把握し、常に職員が間に入り優しく話を聴いて仲良く過せるようにしている。 ・調理の下ごしらえや洗濯物の畳み等を協力して行っており微笑ましい。(無理強いはしない)		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・経済的理由から退去した方の入院を聞いて何度か利用者さんと面会に行ったり、ご家族が顔を出してくれますが、ゆっくりくつろいで過して行かれます。(本人はホームでの生活を望んでいました。)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・ケースバイケースだが、普段の会話の中で聞くと、「特にないよ」との返答だが、困った時など職員の傍に来て訴えられる。常の様子や行動から判断して思いを汲み取ったりして対応しています。</p>	<p>出来る事や出来ない事、してほしい事など、普段の関わりの中から把握し、個人の能力に合ったケアに努め本人らしい生活が維持できるように支援したい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・本人を取り巻くマップを作成している。又、ご家族面会時等に利用者さんの生活歴などをお聞きし支援に役立っている。ケアマネとも連携をとっています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・職員間の個々の観察、気付き、情報の共有により把握し過剰な援助をしないよう、本人の残存能力を大切にしている。</p> <p>・個々の得意とするものを役割や楽しみとしてやって頂いている。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・毎月担当者会議を開催。プラン変更時は本人や家族の意見や意向を聞き、職員全員で検討、介護計画を作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・本人の心身の症状や状況によって見直しを行っている。又、家族、医師に現状を伝え意見、指示を仰いでいる。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者毎にケース記録があり、申し送りや介護計画の見直し、ケアに活用。 ・記録に付いての研修報告し目的や内容について学習しました。 ・これまでも気が付いた時は注意し合ってきました。 		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の際ご家族不参加の利用者さんをボランティア、民生委員の方に協力を頂いている。 ・消防署の協力を得て定期的な火災通報訓練実施。法人として防火訓練を実施。 ・全部ではないが広報を配布し密な関係づくりを図っている。 		・今後も緊急通報訓練は定期的に行いたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・昨年の10月まで「筋トレ」に参加、本人の意思で止めましたが、社協担当者とは何度か話し合いました。(本人の疾病によるレベルダウンが一番の理由ですが)		・ケースがあれば全職員で検討し是非勧めたい、と思っています。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・双葉町介護支援専門員連絡会や双葉北地域介護支援専門員連絡協議会が開催され参加しています。		・今後も同様に参加し、色々相談、助言を受けたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1/月本人、ご家族の希望するかかりつけ医の診察を受けています。変化があれば随時受診をし、ご家族に報告しています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用者様・ご家族、職員と医師の密な情報交換に努め、安心して任せられるホームに心がけたい。
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2名の方が定期的に受診されている。以前から被害妄想と作話が見られた本人、ご家族の同意を得て受診したケースもありました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も必要と思えるケースは、受診を勧めたい。
45				
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ利用者さんが4/23～4/24、5/14～5/16、5/16再入院と、その度に互いにサマリーを提出し情報提供を行っています。 ・入院後の状態に付いてご家族やホームから連絡を取り合いスムーズです。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も入院による不安をご本人やご家族に与えないように、説明をきちんと行い、医療機関との連携も責任を持って対処します。
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人、ご家族から早めに話を伺い、職員間で話し合いし、主治医にも意向を伝えて、更に全員で話し合いをしています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、主治医、職員との話し合いは支援記録やケース記録にのみ記録、重度化の判断、ご家族の意思、本人の意思、職員、主治医の意見などに付いての同意書などは取っていない為、書類の作成を検討したい。
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ここは医療現場ではない事を充分理解して頂きそれでもホームでと希望されたご本人、ご家族の思いを大切に看取りを行ったケースがありました。 ・看取りに必要な準備、勉強を必要時行っている。 ・主治医、ご本人、ご家族、職員と話し合っているケースも現在2件あります。 		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・一度はホーム見学に来て頂き、その後、職員複数で実調の為自宅を訪問、ご家族やケアマネから伺った情報は職員間で共有し、常に職員が傍にいて話を聴いたり散歩などして不安感の軽減に努めています。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・普段から言葉使いには注意し合っています。必要な時はロールプレイ等をしてご本人の気付きを促したり、対応の改善に努めています。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・ゆっくり、あせらず、利用者様に合わせた声掛けや対応を行ない理解に努めている。</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・その日の体調を伺い、役割や体操、散歩等に参加して頂いている。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>・馴染みの理美容室に行ってますが、困難な方は併設の特養に来られる時にかかる。 ・衣類などもご本人の好みや職員の助言などで季節にあった物を選んで頂いている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の嗜好品を書き出しキッチンに張っている、嫌いな物は代替品で対処している。 ・調理、盛り付け、下膳などは一緒にやっています。たまにフロアで一緒にホットプレートでおやつを作ったりすると嬉しそうにしています。 	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時々行事やその他で晩酌をして頂いている。 ・移動販売が来た時は自分の好きな物を購入して頂いている。 ・ドリンク剤を毎日飲用されている方もいます。 	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック表で時間ごとや仕草で誘導します。 ・加齢から尿漏れの方が見られるようになり、尿取りパットが管理できず、又、衛生面からその都度介助をしています。 	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Pm4:00頃から希望者を随時対応していますが、夕食後や寝る前に入る方もおります。 ・入浴を怖がる方には職員が複数で対応しています。 ・足浴だけの対応の時もあります。 	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差があり意見を尊重しています。(添い寝をしたり、一人では眠れないとベッドを並べ2人で休んでいます。) ・冷暖房で室温調整し冬場はボアシートを利用して安眠できるように配慮しています。 	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居室や室内に閉じこもりがちになる為、体操や散歩、ドライブ、カラオケ、月1回行事を開催している ・木箱作り、包丁研ぎ、金魚の世話等をして頂いている。 ・書道やカラオケクラブに参加している方もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による意欲や体力の低下を考慮しながら、個々にあった役割や楽しみなどをご本人とも話し合いながら日常生活に見いだして行きたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売、ふれあい産直、スーパー等での嗜好品の購入について支援している。 ・自分で財布を管理している利用者様もいます。 		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせた買物、散歩、気分転換のイベントなどへ参加している。 ・併設の特養での書道クラブ、カラオケクラブへの参加 		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1/月行事を計画、四季折々の行楽を味わう機会を設けている。 ・ご家族参加は年2回の芋煮会を計画しています。 		
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀や礼状などの支援、書くのを嫌がる方には電話での支援を随時行い、お互いの気持ちのふれあいを大切にしている。 		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでもどなたでも訪問できるようにオープンにしており、居室以外でも和やかに過ごせる様、こたつやソファの設置、時には職員も交じり家族的雰囲気にも努めている。特に玄関の雰囲気はより家庭的になるように頑張りました。 		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームの方針として「拘束をしない」という事で指導しており、職員も認識しています。 		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・夜間以外は全て開錠、自由にベランダや庭に出ています。天気の良い日は窓を開けています。</p> <p>・日中、食事以外は横になっている方がおり、夜間不眠を訴えたり、同室者が不穏、不眠になることから、ご家族の了解を得て、午睡以外は施錠をするようになりました。(職員間でも話し合い「虐待」の結論でしたが)ベランダ側は開錠、体調の変化はありませんでした。</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>・夜間は2時間毎の巡視。要観察な利用者様はドアを少し開けておく。離床センサーの使用。</p> <p>・日中居室で過ごされる方へは訪室してお話したり様子観察をしている。フロアで過している方も多く職員間の声かけで注意を喚起している。</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>・管理能力のある方にはソーイングセットを本数を確認して持たせている。普段は危険物は利用者様の目に触れない所に保管しています。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>・個々のリスクマネジメントを作成し、状態変化に伴い見直しを図り、担当者会議などで話し合っています。</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>・学習会や普段の業務の経験から急変対応など(処置や救急搬送等)経験し、職員の不安ながらも少しずつ実になってきている。</p>		
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・避難訓練を元にGH独自のマニュアルを作成する。</p> <p>・通報訓練は行っている(忘れる事もあったが)。地域の方への協力も依頼して頂いた(東電寮)。</p> <p>・特養との合同防火訓練に参加。</p>		<p>・定期的に夜間や日中を想定して避難訓練を実施し、スムーズに非難出来るように、個々の行動パターンを把握して安全な誘導に備えたい。</p> <p>・緊急通報訓練は続けたい。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>・面会や電話などでも繰り返し話し、相談をしています。職員間でも話し合います。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>・毎朝のバイタルチェック、1/月体重測定、排泄チェック、食事摂取量の把握で状況を見極め、自己判断できない場合は管理者の指示を仰ぐ。</p> <p>・ケース記録、申し送りを徹底し、職員間で情報を共有している。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>・マニュアルファイルに個人別の薬剤情報が閉じてありいつでも確認できるようにしているが利用者様の薬について把握できていない。</p> <p>・受診後は薬剤の変更など申し送るが(ケースに記入したり申し送りノートに記入)把握していない。</p> <p>・薬剤情報ファイルも専用に準備してあるが活用していない。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>・排泄チェック表をつけている。</p> <p>・ユニット内での体操や特養内、施設外の散歩を支援している。</p> <p>・野菜の摂取や水分を促し、食べない方には野菜繊維のサプリメントを混ぜ提供している。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>・毎食後の声掛け見守りにて行なっている。自力にて困難な場合は介助にて支援し、義歯は毎夕ボリデントに浸漬し、徹底するようになりました。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・個々の嗜好表や個人別食事、水分摂取量チェック。</p> <p>・義歯の合わない方等への食事形態の考慮、代替食、補食などで対応している。</p> <p>・食事摂取量は助言を頂いたように分数で記載。</p> <p>・嚥下困難な方には、トロミアップを使用しています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・マニュアルはあり、消毒薬に付いては脱衣室、浴室に張り使用薬品、濃度など掲示しています。 ・インフルエンザ予防接種は本人家族の同意を得て毎年実施している。年末～今年にかけ、風邪を引いた利用者様はおりませんでした。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・手洗い励行、流しや調理器具の洗浄、消毒、乾燥を行っている。 ・3/週新鮮な野菜を購入、必要に応じて温野菜にして使用する事もある。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・フェンスの入り口を常に開放し花を植えたり玄関には利用者様の手作りの新聞受け、亡き利用者様が作ったオブジェには季節の花を飾っている。利用者様愛用の下駄箱や飾り棚に置物や花を飾り家庭的な雰囲気作りに努めている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・第一回外部評価の改善点の指導に基づいて、全職員で対応し、季節の花(造花も含む)を飾ったり、浴室、玄関、フロアをより家庭的に、と頑張りましたが、現在も努力を続けています。 ・浜北地区GHでは、施設交流研修会を計画しており、殆ど全職員を参加させています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファや椅子、コタツ(冬季)を配置し、自由に過ごして頂いています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない	その他()
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> 毎日ある <input type="radio"/> 数日に1回程度ある <input type="radio"/> たまにある <input type="radio"/> ほとんどない	その他()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない	その他()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない	その他()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない	その他()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない	その他()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない	その他()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族と <input checked="" type="radio"/> 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ほとんどできていない	その他()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> たまに <input type="radio"/> ほとんどない	その他()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている ○ 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	その他 ()
98	職員は、生き活きと働けている	○ ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	その他 ()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての利用者が ○ 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他 ()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての家族等が ○ 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	その他 ()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

人間関係や職場環境を重視し、利用者さんが入院する事なく、日々穏やかに安心して過ごして頂けるように努力しています。